



口腔ケア情報

Brushup

Ver.34

認知症と口腔ケアの関係？

脳にアミロイドβというタンパク質がたまって沈着し老人斑と呼ばれるシミができるのがアルツハイマー型認知症の始まりです。次にタウというタンパク質が線維状に固まると神経細胞がおかされて脳が委縮してきます。脳の委縮が始まると脳の神経伝達物質であるアセチルコリンを作ることができなくなり、記憶をつかさどる海馬が委縮するとアルツハイマー型認知症の症状が進みます。

アセチルコリンは食べ物をかむ動作で増えます。歯の数が減ったり歯周病で歯がグラグラして十分にかめなくなるとアセチルコリンが減少し脳委縮を招きます。



歯が 20 本以上ある人に比べて、歯がほとんどなく入れ歯を使っていない人の認知症発生リスクは 1.9 倍というデータがあります。